

令和5年度 金沢支援学校不祥事ゼロプログラム

金沢支援学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1. 会議の設置

教職員による不祥事の発生を未然に防止するための実効性ある対策や対応を図ることを目的として、神奈川県立金沢支援学校不祥事防止会議を設置する。

2. 取組みの方針

教職員一人ひとりが同僚性を高める取組みを通じて「自分が金沢支援学校を動かしている」「事故不祥事は未然に防ぐ」という意識をもって安心・安全な学校、働きやすい職場という学校文化・風土を醸成していく。

3. 目標及び行動計画

取組課題	目標	行動計画
①法令遵守意識の向上(法令の遵守、服務規律の徹底)	・公務外であっても、法令遵守の意識を持ち、公務員として自覚ある行動をする。	・職員行動指針を配付し共有化を図る。 ・毎月の事故事防止会議で啓発資料や事故不祥事事例を取り上げ、法令遵守意識を高める。
②職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	・同僚性によるコミュニケーションの質の向上をはかる。 ・人権意識の向上をはかる。	・総括教諭を中心に有機的なコミュニケーションを実践し、風通しよく円滑な人間関係を築く。 ・事例や啓発資料を活用して研修を行い、教職員の人権意識を高める。
③児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	・職員一人ひとりが未然防止に向けて当事者意識を持ち、決められたルールを遵守し行動する。	・管理職が中心となって、指導場面を日常的に巡視する。 ・授業参観や学校見学等で「ひらかれた学校」を実践し、事故防止に努める。
④体罰・不適切な指導の防止	・児童生徒に対する人権意識の向上を図る。 ・教職員の特別支援教育の専門性の向上を図る。	・啓発資料やヒヤリハット事例を通して、教職員の意識を高める。 ・研修やチームティーチングでの振り返りにより互いに専門性の向上を図る。
⑤入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	・個別教育計画や入選関係資料、進路関係書類等の作成、回議、配付、回収、保管を適切に行う。	・担当部署がルールを示し、ルールに沿って個人情報を取り扱い、管理する。 ・作成後は複数でチェックし、回議は色分けや目隠しファイルを活用、配付・回収・保管はチェックリストを作成する。
⑥個人情報の管理、情報セキュリティ対策	・個人情報等の適正管理を徹底する。	・個人情報データは対策重要度Ⅰで、書面は施錠できる場所で管理する。 ・メール等を送付する際は複数で確認する。

①～⑤については、必須事項

4. 実施、検証について

- ・大(事故不祥事防止会議)、中(学部会・グループ会)、小(日々の振り返り)の実施と検証を連動させる。
- ・年度末に実施と検証をまとめ職場全体で共有するとともに、次年度の取組みに活かす。

5. 実施結果について

不祥事ゼロプログラム検証結果を本校ホームページに掲載する。